

第3章 計画の目標と施策体系

1 本町の望ましい環境将来像

「茨城町環境基本条例」に定める環境の保全等に関する理念の実現に向けた最も基本的な目標を、本町の望ましい環境将来像として次のように定めます。

自然を愛し 人も生きものも 安らげるまち いばらき

本町は、涸沼をはじめとした数々の水辺や緑、そしてこれらが育む多くの動植物が生息する自然豊かな環境に恵まれています。私たちは、この豊かな水辺と肥沃な大地の恵みを受け、漁業、農業を発展させてきました。

今を生きる私たちには、このかけがえのない水辺や緑に満ちた自然を守り、次の世代へとより良い姿で引き継ぐ責任があります。本町の素晴らしい自然を愛し、人も生きものも安らげるまちであるために、一人ひとりが環境と向き合い、町、町民、事業者が協働し、よりよい環境を創造します。



2 基本目標

2-1 自然・やすらぎ

～生きものが四季を伝え、子どもたちが自然に学ぶまち～

本町は、涸沼をはじめ、涸沼流域に広がる水田、台地に広がる畑や里山に見られるように、豊かな自然の中に人の営みと活力が感じられる環境です。涸沼に映し出される美しい夕焼け、のどかな田園風景、鳥のさえずりは、私たちに豊かな実りだけでなく、やすらぎをも与えてくれます。先人たちが知恵を絞り、自然と暮らしを調和させて大切に守り伝えてきたからこそ、私たちは自然の恵みを楽しんできたのです。

しかしながら、経済のめざましい発展のもとに、水遊びができた涸沼は汚濁し、大切に守られてきた田畑は耕作放棄され、使われなくなった里山は荒廃が進み、生きものの生息環境に影響を及ぼすなど、徐々に自然の豊かさが失われてきています。

私たちは、大切に受け継がれてきた自然とやすらぎをよりよい姿で次代へ繋ぐために協働で取り組み、生きものが四季を伝えてくれるまちを、子どもたちが自然に学ぶまちを目指します。



2-2 快適・安全

～人の輪で、未来につなげる住みよいまち～

本町は、野焼きや施設の管理が原因の大気汚染や悪臭、農薬や化学肥料による土壌・地下水汚染、生活雑排水による水質汚濁など、生活環境の快適性と安全性を欠く問題が多い状況です。

涸沼の水質については、長年の取組の効果により改善してきてはいますが、環境基準の達成のためにはさらなる努力が必要です。また、原発事故による放射能汚染は、暮らしにも本町の自然環境にも影響を及ぼすことが懸念されていますので、安全性の確保が長期的に求められます。



私たちが快適で安全に暮らすためには、きれいな空気や静かな環境、清らかな水が確保され、大気や河川、土壌などの環境中に有害物質による影響が懸念されないことが望まれます。一度汚染してしまった環境を取り戻すことは大変ですが、未然に防止することはできるはずです。

私たちは、快適で安全な環境のもとに日常生活を送るために協働で取り組み、住む人も働く人も互いのことを思いやる、そんな人の輪で、未来につなげる住みよいまちを目指します。

2-3 資源・エネルギー

～地域のちからが循環し、未来へ躍進し続けるまち～

本町は、日々排出される一般廃棄物の減量化が足踏み状態であり、また、資源としてもごくわずかしか再利用できていません。省エネへの取組は、様々な啓発活動を取り入れて住民へ呼びかけていますが、取組の効果を図る仕組みが整っていない状況です。また、エネルギー利用についても、太陽光発電システムなど自然エネルギーの利用は、ごく一部の施設で始まったばかりです。

私たちが環境への負荷を最小限に抑え、持続可能な社会を築くためには、資源を循環利用し、化石燃料に頼らない、クリーンなエネルギーの創出と有効利用が望まれます。

私たちは、環境に配慮した行動をはじめ、資源の循環利用、エネルギー利用の効率化や自然エネルギーの利用など、地球環境の保全に貢献するために協働で取り組み、地域のちからが循環し、未来へ躍進し続けるまちを目指します。



3 環境施策の体系

環境将来像

基本目標

施策の方向

自然を愛し人も生きものも安らげるまち
いばらぎ

自然・やすらぎ

生きものが四季を伝え、
子どもたちが自然に学ぶまち

生物多様性の保全

人と自然との共生

歴史と文化の保全

快適・安全

人の輪で、未来につなげる
住みよいまち

きれいな空気と静かな環境の確保

清らかな水の確保

安全・安心な暮らしの確保

資源・エネルギー

地域のちからが循環し、
未来へ躍進し続けるまち

3Rの推進

環境美化の推進

地球温暖化対策の推進

第3章

計画の目標と施策体系

施策の内容

協働

- 生物の生息環境の保全
- 生物の生息情報と保全対策の公開
- 涸沼を保全していく活動の推進
- 水辺地と人の共生ができる空間の保全
- 里山の再生、整備事業の推進
- 農地と自然が調和した空間の整備
- エコツーリズムの活性化
- 景観と自然の調和を含めた文化財の保全
- 環境・歴史・文化の継承

- 大気汚染防止対策
- 悪臭防止対策
- 騒音・振動対策
- 大気・騒音環境の監視・調査の継続
- 工場・事業場の排水対策
- 生活排水対策
- 水質の監視・調査の継続
- 涸沼及び涸沼流域の浄化活動の推進

- 土壌汚染・地盤沈下対策
- 有害化学物質の排出防止対策
- 福島第一原子力発電所の事故に係る放射線及び放射能の監視

- ごみの発生抑制と減量化の推進(Reduce)^{リデュース}
- 再使用の推進(Reuse)^{リユース}
- 再資源化の推進(Recycle)^{リサイクル}
- 廃棄物の適正な排出の指導
- 不法投棄されない環境づくりの推進
- きれいなまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進

学ぶ

- 涸沼自然ガイドに学ぶ学習会
- 生物多様性保全取組事例発表会
- 環境や生きものにやさしい農業の勉強会

活動する

- 自然・やすらぎ環境保全活動
- 涸沼保全ガイド・保全活動リーダーの育成

学ぶ

- 茨城県涸沼環境フェスティバル
- 環境意識向上説明会
- 涸沼浄化推進小学校連絡会議の活動PR

活動する

- 茨城県涸沼環境保全実施計画の推進
- 環境保全活動団体のネットワークの構築
- エコ看板の作成と設置

学ぶ

- 茨城県地球温暖化防止活動推進員に学ぶ学習会
- CO₂見える化の活用

活動する

- 茨城県地球温暖化対策実行計画の推進
- 町内一斉ごみ拾い
- バイオマス資源の地域リサイクル